

平成30年12月八戸市議会定例会一般質問(教育委員会事務局分)

(12月10日、11日 2日間)

○12月10日(月)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
無所属 伊藤 圓子	4 幼保無償化等子育て支援について	(1) 幼児教育支援について	学校教育課	1
きずなクラブ 三浦 博司	2 若者の定着と人材還流の促進について	成人式について		
		ア 出席率について	社会教育課	2
		イ 各地区で開催することについて	社会教育課	3
公明党 中村 益則	2 教育行政について	(1) 学校給食における食育の取り組みについて		
		ア 食育推進について	学校教育課	4
		イ 地産地消の推進について	学校教育課	5
		ウ 環境教育について	学校教育課	6
		(2) 図書館の機能について		
		ア 宅配サービスについて	図書館	8
		イ 移動図書館のネーミングについて	図書館	9
ウ 移動図書館による寄贈図書の回収について	図書館	10		
自民民主・市民クラブ 松橋 知	2 海洋教育について	(1) 小中学生に対する海洋教育について	社会教育課	12
		(2) JAMSTECとの連携について	社会教育課	13
	4 公共施設マネジメントについて	(2) 個別施設計画の策定について	行政管理課 (社会教育課)	14
無所属 山名 文世	3 小中学校に係る児童生徒の問題行動について	(1) いじめについて	教育指導課	15
		(2) 暴力行為について	教育指導課	17
		(3) 不登校の実態と対応について	教育指導課	18
日本共産党議員団 苦米地 あつ子	4 教職員の長時間勤務改善について	(1) 勤務時間の管理について	学校教育課	19
		(2) 学校閉庁日について	学校教育課	20

○12月11日(火)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
公明党 夏坂 修	3 教育行政について	(1) 小中学校教室へのエアコン設置について	教育総務課	21
		(2) 市立図書館のバリアフリー対応について	図書館	23

資料（提出様式）

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	4 幼保無償化等子育て支援について
発言の要旨	(1) 幼児教育支援について
質問内容	幼児教育支援に関する補助金の増額又は継続に対する考えについて伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○私立幼稚園補助金は、市内の私立幼稚園が行う幼児教育の振興事業に対して交付しているもので、近年の少子化の影響を考慮し、23年度と24年度の2か年で基本割を10万円増額し、平成25年度からは、事務や施設等の整備に要する費用を補助対象経費に追加するなど、大幅な見直しもしている。</p> <p>○他市では、子ども・子育て支援新制度や認定こども園に移行した園は補助対象外とする中、当市では、移行した園もこれまでと同様に補助対象としている。</p> <p>○私立幼稚園教員研修費補助金は、八戸市私立幼稚園協会が行う教員の資質向上と幼児教育の振興と充実を図るための事業に対して交付しているもので、教員の研修や「ようちえんの広場」などの開催費用を補助対象経費としている。</p> <p>○私立幼稚園第3子保育料軽減事業費補助金は、第3子以降の園児に係る保育料を世帯の所得状況等に応じて減免するもので、当初、県の事業として実施されていたが、平成19年度以降は市単独事業として実施している。(こども未来課)</p> <p>○私立幼稚園就園奨励費補助金は、保護者の経済的負担を軽減し、幼稚園教育の振興に資するため、保護者の所得状況等に応じて保育料等を減免した幼稚園に対し補助金を交付するもので、国の基準に沿って事業を実施している。(こども未来課)</p> <p>○4補助金とも、幼児教育の振興や質の向上、保護者の経済的負担軽減のため有効に活用されていることから、引き続き補助制度の維持に努めていく。</p>
担当課	学校教育課・こども未来課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	三浦 博司 議員			
発言事項	2 若者の定着と人材還流の促進について			
発言の要旨	成人式について ア 出席率について			
質問内容	平成 26 年から 30 年までの 5 年間について、1 年ごと、並びに 5 年間の平均出席率について伺いたい。			
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長			
答弁内容(概要)	平成 26 年から 30 年までの 5 年間について、1 年ごとの平均出席率はつぎのとおりである。			
	年	該当者 (人)	出席者 (人)	出席率 (%)
	2 6 (25 年度)	2, 217	1, 902	85. 8
	2 7 (26 年度)	2, 339	1, 921	82. 1
	2 8 (27 年度)	2, 225	1, 889	84. 9
	2 9 (28 年度)	2, 167	1, 890	87. 2
	3 0 (29 年度)	2, 046	1, 736	84. 8
	上記 5 年間の平均出席率は 84. 9%である。			
担当課	社会教育課			

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	三浦 博司 議員
発言事項	2 若者の定着と人材還流の促進について
発言の要旨	成人式について イ 各地区で開催することについて
質問内容	出席率向上や、地区町内会の活性化、さらには若者の地元定着といった観点から、成人式を中学校区ごとに開催する考えはないか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	○当市の成人式の出席率は高い割合で推移している。 ○ここ数年、当市では、八戸市体育館や八戸市東体育館を会場として単独箇所での開催をしており、県内の他市町村の平成 31 年成人式の実施予定を見ても、地区ごとに開催している例はない。 ○母校単位での地域力の向上といった面では、当市では、中学校当時の恩師や友人と交流する「ふれあいタイム」の時間を設けている。 ○これらの状況を考慮すると、地区ごとの開催とせずとも、地域力の向上や、若者の地元定着、並びに人材還流を促進するための効果的な PR は可能であると考えている。
担当課	社会教育課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	若者の地元定着や UIJ ターン就職の促進に向けた PR の機会として成人式を活用することについて、市長部局担当課と連携する考えはないか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	○当市の成人式の出席率は、高い割合で推移しており、また、ここ数年は、地元スポーツチームの依頼を受けて、チームを紹介する映像の上映や、チラシの配布を行っている。 ○同様に、成人式を活用し、若者の地元定着等の促進に向けた PR を行うことも可能であると考えている。

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	成人式を地域振興の場と捉え、市長部局と積極的に連携し、若者の定着と人材還流の促進に資する事業を展開していただきたい。

資料（提出様式）

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(1) 学校給食における食育の取り組みについて ア 食育推進について
質問内容	学校給食における食育推進及び学校給食実施基準の改正に基づいた取組について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○子どもたちに対する食育は、生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎となるものである。</p> <p>○当市では、「八戸市学校給食基本計画」において、「安全・安心で、栄養バランスの取れた豊かな食事を提供する」とともに、「食に関する指導を効果的に進めるための重要な教材として活用する」ことを、学校給食の理念に掲げている。</p> <p>○伝統的な食文化について関心を高め、地域の食材の生産・流通・消費について理解を深めてもらうために、地元食材を多く使用し、鯖の味噌煮、いか汁、せんべい汁、ひつつみ、雑煮、黒豆など、和食や郷土食、行事食等を献立に積極的に取り入れている。</p> <p>○家庭用の献立のお知らせには、使用している食品の働き、県産品の使用状況、食習慣や季節料理の情報など、食に関する話題を掲載するとともに、給食時間の校内放送用の指導資料を毎月学校へ配付し、活用してもらっている。</p> <p>○29年度からは西地区給食センターに体験型食育コーナーを設け、郷土料理等のレシピや学校給食における県産食材等の活用例を紹介している。</p> <p>○「学校給食の栄養バランス」については、学校給食実施基準に基づいているが、今年8月の一部改正で、塩分量やエネルギー量などの栄養摂取基準値が変更された。</p> <p>○これまで以上に「だし」を活用し、塩分を減らしても美味しく感じられるように、「うまみ」を生かした味付けを工夫するとともに、麺の汁は残すなどの減塩指導を行っている。</p> <p>○今後も引き続き、当市の学校給食の基本理念に基づき、各学校との連携を密にして、食育の充実を図っていく。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
--------	--

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
-------	--

資料（提出様式）

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(1) 学校給食における食育の取り組みについて イ 地産地消の推進について
質問内容	地元食材の利用状況と利用促進に向けた取組について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○当市の学校給食における地元食材の利用率は、使用重量ベースによる29年度実績で66.4%であり、県平均同様65%程度で推移している。</p> <p>○内容については、米飯は八戸産米「まっしぐら」を、牛乳は県産乳を100%使用するとともに、八戸産の鯖やいか、南郷産のブルーベリー等を使用した加工品の利用に努めている。</p> <p>○牛肉・豚肉・卵は、県産を指定しており、生鮮野菜・果物類についても、市内産、県産を優先して納品するよう業者へ要請している。</p> <p>○学校給食は大量調理であるとともに、多様な食材を使用することにより栄養バランスを考慮する必要があり、地元食材だけでは、必要量の安定供給が難しいという現状がある。</p> <p>○今年度の取組としては、当市の戦略プロジェクト事業として、学校給食における地元食材の活用等を目的に、北地区給食センターで、だしやうまみに関する講習会を開催したほか、地産地消をテーマに食育活動を行う学校に対して、講師派遣経費や食材費の補助等を実施している。</p> <p>○今後も引き続き、食材の生産者や製造者、食材取扱業者等との情報交換を図りながら、地元食材の利用促進に努めていく。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(1)学校給食における食育の取り組みについて ウ 環境教育について
質問内容	学校給食における環境教育の取組状況と今後の見通しについて伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○当市では、平成 25 年 3 月に策定した「第 2 次八戸市環境基本計画」において基本目標「循環型社会づくり」を掲げ、廃棄物を貴重な資源として、利用・循環させる社会への転換を目指している。</p> <p>○平成 26 年 10 月、環境省において、「学校給食調理施設においても、食品ロス削減等の取組を実施するとともに、食品残渣のリサイクルを推進することが必要である」との提言がなされている。</p> <p>○当市においては、食べ残しを減らす取組として、献立及び味付けの工夫や学校での食育指導に生かすため、残食量の調査を始めたところだ。</p> <p>○食品残渣のリサイクルについては、平成 28 年度に東地区給食センターでモデル事業を実施し、翌 29 年度からは、市内全給食センター分をリサイクル業者に委託し、堆肥化処理をしている。</p> <p>○昨年度は、当該業者による、リサイクル堆肥の使い方講座や、リサイクル工場見学会など、子どもたちが環境リサイクルについて学べる機会を提供した。</p> <p>○今年度は、「環境リサイクル」とともに、「地産地消」、「和食・郷土料理」についての学習を目的とした、食育活動支援事業を実施し、小・中学校各 1 校において、食の専門家や関係機関と連携した実践活動に取り組んだ。</p> <p>○今後も支援事業を継続するとともに、学校給食を活用した食育と環境教育の充実に努めていく。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	食育支援事業における各学校の活動例と今後の展開について伺いたい
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○対象校となった小学校では、「学校園で育てた野菜と地元の食材を使っておいしい和食をつくろう」のテーマのもと、給食残渣のリサイクル堆肥を使って野菜を栽培し、その野菜と地元食材を使った和食を考案したほか、講師に市内の和食調理人を招き、サバをおろす実習や、味噌煮の調理など、総合的な食育学習を行った。</p>

資料（提出様式）

	<p>○中学校では、1つ目として「農園活動・講演会を通し、勤労観・職業観を育成し自己の生き方を考えさせる」、2つ目として「乾燥野菜の作り方を学ぶことを通して、食と健康への関心を高める」ことをねらいとして、地元の野菜 加工品を世界に発信しながら活躍されている方を講師に招き、給食残渣のリサイクル堆肥を使った農園で収穫した野菜で「やさいだし」を作り、地元食材と組み合わせて調理実習を行った。</p> <p>○各学校の児童生徒は、様々な講話や農園作業、調理実習などの実体験を通して、「環境リサイクル」や「地産地消」について、より一層、興味や関心を持つことができた。</p> <p>○今後は、本支援事業を継続するとともに、事業の対象校以外へもリサイクル堆肥の利用を促し、学校での食育及び環境教育に役立てていく。</p>
--	---

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	今後も、食育や環境リサイクルの取組を推進していくことを要望する。

資料（提出様式）

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(2) 図書館の機能について ア 宅配サービスについて
質問内容	高齢者・障がい者等への図書の宅配サービスの現状と、今後の方向性について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○国立国会図書館が実施した、「公共図書館における障がい者サービスに関する調査研究」によると、障がいや高齢等の理由で来館して資料を利用することが困難な利用者に対し、郵送等により利用者の自宅に一般資料や障がい者向け資料を届けるサービスの、28年度の状況は、回答のあった全国自治体の公共図書館中央館1,147館のうち、589館が実施しており、395館で貸出実績があったという結果が出ている。</p> <p>○県内では、青森県立図書館が、重度の心身障がいのある県民や、来館が困難な高齢の在宅要介護の県民を対象に、個人宅配サービスを行っているほか、青森市や弘前市の図書館でも重度障がい等のある市民を対象に実施している。</p> <p>○青森県視覚障害者情報センターでは、視覚障がいのある県民へ、点字資料や録音資料の宅配を行っている。</p> <p>○現在、市立図書館では、高齢者や障がい者の入所施設等に対し、150冊を上限に、3か月間貸出する施設配本や、移動図書館車による巡回貸出を実施し、施設への出張貸出サービスに努めているが、個人への宅配は行っていない状況である。</p> <p>○図書館に来館することが困難な方々への個人宅配サービスについては、実施している公共図書館も増えている実情を踏まえ、対象者や費用負担等の他都市の実施状況を参考としながら、サービス体制について検討していく。</p>
担当課	図書館

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(2) 図書館の機能について イ 移動図書館のネーミングについて
質問内容	移動図書館車の愛称を募集し、ラッピングバスのように、愛称を車にペイントして巡回してはどうか。宣伝効果があり、利用者も増えるのではないか。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○移動図書館車は、貸出用図書約 3,000 冊を積載し、市内 50 か所のステーションを、月 1 回の割合で巡回している。</p> <p>○移動図書館車での貸出冊数は 7 冊まで、貸出期間は次の巡回日までの約 1 か月間としている。</p> <p>○利用状況として、貸出冊数は、27 年度 29,312 冊、28 年度 27,058 冊、29 年度 28,958 冊であり、貸出利用者数は、27 年度 6,803 人、28 年度 6,302 人、29 年度 6,603 人となっている。</p> <p>○28 年度は、前年度に比べ、若干利用が減少しているが、29 年度は、前年度に比べ、貸出冊数は 1,900 冊の増加、貸出利用者は 301 人増加している。</p> <p>○増加となった要因としては、利用率向上策として、巡回先の利用状況を考慮し、巡回コースや滞在時間の見直しや、巡回場所の変更・新設・廃止等の検討を行い、効率的な巡回ができるよう努めてきた結果によるものと考えている。</p> <p>○移動図書館車は、初代「みちのく号」、2 代目以降は「はちのへ号」という愛称があり、現在の 4 代目は、愛称に合わせ、海とうみねこを基調としたデザインを採用した車体となっており、8 年を経過している。</p> <p>○この愛称について、広く周知するまでには至っていないことを踏まえ、次回の移動図書館車の更新の際に、愛称を募集するなど、他都市での事例を調査しながら、研究していく。</p>
担当課	図書館

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(2) 図書館の機能について ウ 移動図書館による寄贈図書回収について
質問内容	寄贈図書は、本館・分館の窓口で受付しているようであるが、移動図書館でも受付・回収してはどうか。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○市立図書館では、「八戸市図書館寄贈資料の受領に関する取扱い基準」を定め、市民の皆様から寄贈資料を受領している。</p> <p>○受領する資料の基準としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則として3年以内に出版された一般図書及び児童図書。ただし、文学書及び絵本については、出版年を問わない。 ・郷土に関する古文書、図書、パンフレット類、新聞、雑誌等。 ・その他図書館長が必要と認める資料 としている。 <p>○この基準に適合する場合には、寄贈資料を受領しているが、なかには、古い百科事典、実用書等、記述内容又はデータが古く、資料的価値がないと判断される資料など、基準に合致しない本が多数持ち込まれる場合もあり、対応に苦慮しているところである。</p> <p>○寄贈資料の受付の際、取扱いについて、図書館に一任いただくことを確認した上で受領しているため、この基準に合致しない場合には、図書館が実施するリサイクルフェアに提供するほか、図書館の費用負担による廃棄処分としている。</p> <p>○移動図書館での寄贈資料の受領については、利用者の利便性は図られると思われるが、最小限の乗車人員で巡回しており、各巡回先の滞在時間も短いため、寄贈受付に時間を割くことができない状況にある。</p> <p>○車内が非常に狭いため、受入のスペース確保が難しいこと等から、現状では、移動図書館での寄贈資料の受領は極めて困難であると考えている。</p>
担当課	図書館

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	寄贈図書の冊数について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○本館、分館を合わせた寄贈図書の冊数は、27年度8,090冊、28年度7,679冊、29年度7,479冊となっている。</p> <p>○そのうち、図書館の所蔵資料とするものは、5割程度であるほか、リサイクル</p>

資料（提出様式）

	フェアに活用するものは3割程度、廃棄処分とするものは2割程度となっている。
--	---------------------------------------

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	<p>○結構な数の寄贈が寄せられているという印象を受けた。市民の皆様からの寄贈本を増やすという取組みを、ホームページ上で具体的な書籍名を掲載したほうが分かりやすいと思う。他都市の場合、予約数が多い本の名を挙げて、具体的に寄贈をお願いしているという図書館もある。そうした他都市の事例を参考に、研究していただきたい。</p> <p>○被災地の方々のように、移動図書館を待っている人には、希望と光を届ける励ましの灯台のような存在だと思う。「本のまち」としての図書館や移動図書館の役割は大きく、今後の機能強化に期待したい。</p>

資料（提出様式）

質問者(議員名)	松橋 知 議員
発言事項	2 海洋教育について
発言の要旨	(1) 小中学生に対する海洋教育について
質問内容	小中学生に対する海洋教育について、これまでの取組や市教育委員会の考え方を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○市教委では、学校教育や生涯学習を通じた海洋教育の普及に取り組んできた。</p> <p>○学校教育では、従前より、社会科の授業において、教科書に加えて市独自に作成した副読本を活用し、小学校から中学校にかけて当市の海洋について段階的に学習している。また、小学校では、体験学習や海洋教室を行うなど、各校において、当市の特色を活かした、様々な取り組みが行われている。</p> <p>○生涯学習の一環として、国立研究開発法人 海洋研究開発機構、JAMSTEC と連携した事業も積極的に推進している。昨年度、大幅なリニューアルを行っていただいたマリエント『はちのへ「ちきゅう」情報館』は、子どもたちが、八戸にしながら海洋に関する最新の知識や JAMSTEC の研究成果に触れることのできる場として、大変な賑わいを見せている。29年度より開始した JAMSTEC の職員による出前授業は、今年度まで、小・中学校 8 校で実施しており、キャリア教育という観点からも大変意義深いものであると考えている。</p> <p>○32年度より全面実施となる新学習指導要領では、社会科において「海洋教育の充実」が示されている。また、本年 5 月 15 日に閣議決定された「第 3 期海洋基本計画」においても「子どもや若者に対する海洋に関する教育の推進」が盛り込まれるなど、ここ数年、海洋教育に対する関心は高まっている。</p> <p>○市教委としては、これらを踏まえつつ、全国屈指の水産都市である当市の地域性を活かした海洋教育の更なる充実に努めて参りたいと考えている。</p>
担当課	社会教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	松橋 知 議員
発言事項	2 海洋教育について
発言の要旨	(2) JAMSTEC との連携について
質問内容	これまでも、小中学生を対象としたマリエント「ちきゅう」たんけんクラブによる活動や、市内小中学校での出前授業の実施など、JAMSTEC と連携した取組が実施されているが、今後、小中学生に対する海洋教育について、JAMSTEC と連携した取組を強化していく考えはないか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○19 年度に発足した『「ちきゅう」たんけんクラブ』は、マリエント職員の努力により、現在では高校生や大学生を含む、多くの会員が活動している。</p> <p>○市内小中学校での出前授業は、当初、29 年度のみの実施を予定していたが、好評であったことから継続して実施した。来年度以降も継続して実施したい。</p> <p>○広く一般市民を対象とした事業として、JAMSTEC 所有の研究船舶の一般公開を、17 年度、21 年度、29 年度の 3 度実施しており、特に、昨年度の「ちきゅう」の一般公開では、多くの子どもたちを含む、4,265 名の市民に会場いただいた。また、11 月 11 日「マチニワ」で研究成果・活動報告会を、JAMSTEC との共催で当市で初めて開催した。当日は、271 名もの市民に参加いただき、たんけんクラブ会員にも素晴らしい事業報告をしていただいた。</p> <p>○これらの事業は、子どもたちにとってかけがえのない機会であると考えており、市教委としては、これまで実施してきた事業については継続していくとともに、これまで以上に周知を図って参る。今後とも、次代を担う子どもたちが、「科学する心」を芽生えさせ、育むことができるように、JAMSTEC の理解・協力を得ながら、連携事業のさらなる拡充に努めて参る。</p>
担当課	社会教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	連携事業の更なる充実を図っていただきたい。また、来年度は市制施行 90 周年であるので、船舶を誘致し一般公開を実施していただきたい。

資料（提出様式）

質問者(議員名)	松橋 知 議員
発言事項	4 公共施設マネジメントについて
発言の要旨	(2) 個別施設計画の策定について
質問内容	①今後どのように公共施設マネジメントを進めていくのか伺いたい。 ②個別施設計画の策定には、住民参画が必要と考えるが、どのように進めていくのか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	① ○施設の適切な維持管理と計画的な改修等を推進するため個別施設計画の策定を引き続き進めていく。今後も効率的な維持管理に向け、長寿命化等の取組を推進していく。(行政管理課) ② ○施設毎に地域住民などの参画の必要性をそれぞれ検討し、計画の策定や取組の実施については必要に応じて地域住民の意見を取り入れながら、適切に対応していく。(行政管理課)
担当課	行政管理課、(再質問：社会教育課)

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	地区公民館の個別施設計画の策定状況と地域住民の策定への参画について
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	○個別施設計画については、他の公共施設と同様に策定する準備を進めている。 ○計画策定にあたっては、必要に応じて地域住民の意見を取り入れていく。

◎再再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	地区公民館の重要性と今後の建替えについて市長の考えを伺いたい
答弁者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	○公民館は、地域住民の学習や文化活動の場であるとともに、地域振興にとっても大変重要な拠点であると考えている。 ○今後とも、公民館の重要性や地域性を勘案し、地域住民の声を大切にしていく。

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	山名 文世 議員
発言事項	3 小中学校に係る児童生徒の問題行動について
発言の要旨	(1) いじめについて
質問内容	当市におけるいじめの問題の現状と対応状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○議員御指摘のとおり、今般、全国的にいじめが原因と思われる痛ましい事案が発生し、改めていじめに対する危機意識を強くしている。</p> <p>○文科省「平成 29 年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」によると、いじめの認知件数は全国的に増加傾向にある。</p> <p>○当市におけるいじめの認知件数は、1,000 人あたり小学校では 114.6 件で前年比 50.0 件の増加、中学校では 28.5 件で前年比 14.3 件の増加で、小学校では県や国より多く、中学校では県より少ないものの、国よりは多い状況である。</p> <p>○各学校では、教職員や児童生徒・保護者のいじめに対する問題意識が高まっていること、いじめ防止対策推進法が定めるいじめの定義に基づき、けんかやふざけ合いであっても状況によっては、いじめと認知していることから、認知件数が増加しているものとする。</p> <p>○市教委では、「子どもの命最優先」、「いじめは絶対に許さない」という認識のもと、市内小・中学校と連携を図りながら、いじめの未然防止に向けた取組の充実に努めている。</p> <p>○具体的には、いじめ問題に関する教職員研修や、児童生徒が主体的にいじめの問題に取り組むことをねらいとして、毎年開催している「いじめの問題等に関する対話集会」、「生徒会交歓会」などを通して、いじめを未然に防止するための取組を進めている。</p> <p>○市内の全小・中学校では、「学校いじめ防止基本方針」の策定、校内指導体制の整備により、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めている。</p> <p>○各学校では、日常的にきめ細やかな観察を行うとともに、児童生徒・保護者に対するアンケートや教育相談等を実施し、地域住民や関係機関等とも連携しながら、児童生徒の変化に、迅速に対応している。</p> <p>○特に、いじめにつながる情報があった場合には、全教職員での情報共有、当事者や保護者との面談、見守りや心のケアなどにより、学校全体で早急に対応している。</p> <p>○いじめの解消については、国の方針に基づき、単に謝罪をもって解消とするのではなく、基本的には3か月をめどに、定期的に児童生徒や保護者へ聴き取りを行い、心身の苦痛を受けていないかどうかを継続的に確認している。</p> <p>○いじめの未然防止に向けては、まわりの大人が児童生徒一人一人の内面理解に努め、親身になって関わること、決して「いじめをしない・させない・許さない」という心を育むことが重要であるとする。</p> <p>○今後も、各学校と緊密に連携を図りながら、さらには保護者や地域住民、関係機関等と共に、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に向けて全力で取り組んでいく。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	○全国の重大事態の報道を見ると、いじめの被害に遭った側と学校との間に認識の違いがあるように感じる。市教委では、どのようにして捉えているのか。 ○「学校いじめ対策組織」を設けている学校の割合とその活動状況について。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	○学校では、事案の当事者から丁寧に聴き取りをするとともに、保護者へも指導の経緯や対応について丁寧に説明をしている。また、学校において、事案への対応を検証することにより、再発防止・未然防止・早期発見・早期対応に向けた情報共有や指導体制の充実を図っている。 ○市内全小・中学校において「学校いじめ対策組織」を設け、いじめの認知や事案の情報共有・対応を協議する場として活用している。

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	山名 文世 議員
発言事項	3 小中学校に係る児童生徒の問題行動について
発言の要旨	(2) 暴力行為について
質問内容	当市の小・中学校における暴力行為の現状と対応状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○文科省「平成 29 年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」によると、児童生徒の暴力行為の発生件数は、いじめの認知件数と同様に全国的に増加傾向にある。</p> <p>○当市における暴力行為の発生件数は、1,000 人あたり小学校では 6.0 件で前年比 2.9 件の増加、中学校では 5.8 件で前年比 2.1 件の増加となっており、小学校では県より多く国より少ない状況、中学校では県や国よりも少ない状況。</p> <p>○暴力行為の内容としては、小・中学校ともに生徒間暴力が大半を占めている。</p> <p>○各学校では、いじめを早期に認知する動きがある中で、児童生徒間のけんかや、ぶつかる、たたく等の行為も暴力行為として計上するようになったことから、暴力行為の発生件数が増加しているものとする。</p> <p>○各学校では、教育活動全体における道德教育の推進や、コミュニケーション能力を高めるための実践的な指導の充実を図るなど、暴力行為の未然防止に組織的・継続的に取り組んでいる。</p> <p>○また、暴力行為が発生した場合には、家庭はもちろんのこと、必要に応じて警察等の関係機関とも連携して、児童生徒の心のケアに努めるとともに、暴力行為に至った要因や背景を丁寧に分析し、当事者同士の関係や児童生徒を取り巻く環境の改善に努めている。</p> <p>○学校で、けんかやぶつかる等の行為も暴力行為として積極的に認知し、児童生徒の発達の段階に応じた指導を充実させることで、いじめの未然防止・早期発見・早期対応につながったケースも多く報告されている。</p> <p>○市教委としては、学校訪問や各種研修講座、校長会、生徒指導部会等の機会を通じて、指導・助言や情報の共有を密に行い、引き続き暴力行為を含めた諸課題への対応に努めていく。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	○ 暴力行為について警察との連携は、どのように行っているのか。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	【議場では時間切れのため答弁なし】

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	山名 文世 議員
発言事項	3 小中学校に係る児童生徒の問題行動について
発言の要旨	(3) 不登校の実態と対応について
質問内容	当市における小・中学校に係る不登校児童生徒の現状と、フリースクール等との連携も含めた対策について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○文科省「平成 29 年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」によると、当市における 1,000 人あたりの不登校児童生徒数は、27 年度は 15.7 人、28 年度は 17.6 人であったが、スクールソーシャルワーカー制度を導入した 29 年度は 16.3 人と改善の傾向が見られる。</p> <p>○当市において不登校に至った原因は、「家庭の生活環境の急激な変化」「親子関係をめぐる問題」など、主に家庭に起因するものが約 4 割を占め、続いて「学業不振」など、主に学校生活に起因するものが多い。</p> <p>○各学校では、不登校を未然に防止するために、各学校に配置されているスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用し、学校や家庭、関係機関等と連携し情報共有を図るケース会議を開催して、計画的な教育相談に取り組んでいる。</p> <p>○市教委では、少年相談センターやこども支援センターにおいて、児童生徒や保護者からの相談を受け付け、当該学校に加えて、子育て支援課や生活福祉課等の関係課とも連携を図り、不登校の要因となる諸課題の解決に努めており、不登校の状況が改善された事例も報告されている。</p> <p>○また、今年度から文科省の委託を受け、市内の 1 中学校区において、不登校を未然に防止する取組として「魅力ある学校づくり調査研究事業」を実施している。</p> <p>○議員御指摘の「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」では、不登校児童生徒に対する教育の機会を確保すること等が示されている。</p> <p>○当市では、文科省が提唱するフリースクール等に該当すると思われる不登校生を受け入れている 4 箇所の学習塾等と情報共有を図っているところであるが、現時点では、学習塾等での学習を出席として認めている事例はない。</p> <p>○市教委としては、今後も、学校や家庭、関係機関等と連携を図りながら、不登校の未然防止と不登校児童生徒への支援に努めるとともに、「いのちの教育」を基底とした学校教育の充実に取り組んでいく。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	苫米地 あつ子 議員
発言事項	4 教職員の長時間勤務改善について
発言の要旨	(1) 勤務時間の管理について
質問内容	勤務時間の管理の状況と今後の方向性について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○21年度に「八戸市立学校職員健康障害防止対策実施要綱」を策定し、27年度に教職員一人一人が勤務時間を校務パソコンに記録できるシステムを導入した。</p> <p>○また、必要に応じて「長時間労働者への面接指導チェックリスト」を活用し、健康相談医による健康相談を行うことができる体制を整えている。</p> <p>○これまで、システムの積極的な活用を各学校に呼びかけ、現在では、出張や休日の部活動等の記録も含め、市内全小中学校で活用されている。</p> <p>○このことにより、勤務時間に対する教職員の自己管理の意識が高まるとともに、時間外勤務の多い職員に対しては、管理職による助言や負担軽減に向けた校務の見直し等、具体的な対策が取られている。</p> <p>○市教委としては、今後も、学校訪問等を通じて、各学校における勤務時間の適正化に向けた取組を支援していく。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
--------	--

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
-------	--

資料（提出様式）

質問者(議員名)	苫米地 あつ子 議員
発言事項	4 教職員の長時間勤務改善について
発言の要旨	(2) 学校閉庁日について
質問内容	学校閉庁日の成果を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○当市では、今年度から、有給休暇の取得促進、教職員の勤務意欲の向上及び健康の保持増進並びに働きやすい職場環境の構築のため、8月13日、14日の2日間を学校閉庁日として実施した。</p> <p>○学校閉庁日の期間は、小中校長会との意見交換をもとに教職員の研修会への参加、保護者面談の時間の確保、会議の設定等を考慮し、設定した。</p> <p>○実施にあたり、事前に、保護者や地域に対し、設定の趣旨や緊急時の連絡体制等を十分に周知したことで、閉庁日の期間中の混乱はなかった。</p> <p>○学校閉庁日を設定したことにより、学校からは「夏季休業中に有給休暇をまとめて取得しやすくなった」「仕事と休暇のけじめをつけることができたのでリフレッシュできた」という報告を受けており、一定の成果があったと受け止めている。</p> <p>○一方、閉庁期間内に休暇中でありながら、飼育動物や植物の世話等で出校せざるを得ない学校事情もある。</p> <p>○市教委としては、学校現場の実情に即した学校閉庁日になるよう、引き続き、校長会と意見交換を重ねていく。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
--------	--

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
-------	--

資料（提出様式）

質問者(議員名)	夏坂 修 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(1) 小中学校教室へのエアコン設置について
質問内容	公立小中学校へのエアコン設置を支援する緊急対策として、国が新たに創設した臨時特例交付金を活用したエアコンの整備について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○近年、全国的に記録的な猛暑が続き、児童生徒への健康被害が心配される状況にある。</p> <p>○このような中、国においては、従来の大規模改造空調設置工事に対する交付金に加え、新たに公立小中学校へのエアコンの設置に対する臨時特例的な措置として、「冷房設備対応臨時特例交付金」を創設したところである。</p> <p>○新たな交付金を活用した場合、事業費における自治体負担額は約 1/4 となり、従来の交付金の自治体負担額約 1/2 に比べると、有利な交付金となっている。</p> <p>○当市においては、体調不良等を訴える児童生徒の症状を緩和させる環境を整備するとともに、避難所としての機能を向上させる目的で、29 年度から保健室へのエアコン設置に取り組んでいる。</p> <p>○今年度までに、小学校 22 校、中学校 14 校への設置が完了しており、来年度は、小学校 21 校、中学校 10 校へ設置し、市内全小中学校 67 校への設置を目指している。</p> <p>○保健室へのエアコン設置に対する交付金の活用については、従来の交付金では、1 校あたりの事業費が 400 万円を上回ることが条件となっており、新たな交付金においては、対象事業が普通教室への新設整備であることから、どちらの交付金も該当しないものである。</p> <p>○保健室へのエアコンの設置については、学校から一定の効果があつたとの評価を得ているものであり、来年度の保健室へのエアコン設置については、今後の国の動向や設置時期を勘案して取り組んでいく。</p>
担当課	教育総務課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	エアコンの普通教室への設置について、学校からの要望はないか。また、普通教室への必要性について、各学校に調査する予定はないか。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長

資料（提出様式）

<p>答弁内容(概要)</p>	<p>○市内、全小中学校の保健室へのエアコン設置を進めている中、学校から普通教室への設置についての要望はない状況にある。</p> <p>○また、保健室にエアコンが設置されている学校からは、「熱疲労が見られた児童も、少しの休養で回復した」等の報告を受けており、エアコン設置による効果が現れているものと理解している。</p> <p>○普通教室への必要性に関する各学校への調査については、保健室のエアコンの利用状況や効果の検証結果を見ながら考えていく。</p>
-----------------	---

◎要望

<p>要望の有無</p>	<p>■ 有 □ 無</p>
<p>発言内容(概要)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・過去5年間の7・8月の気温を確認したところ上昇傾向にある。 ・過去5年間のうち4年間は、8月より7月の方が気温が高い。 ・エアコンの設置について、3階や1・2年生の教室にほしいという要望があると聞いているので、是非調査していただきたい。

資料（提出様式）

質問者(議員名)	夏坂 修 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(2) 市立図書館のバリアフリー対応について
質問内容	市立図書館におけるバリアフリー対応として、ハード面、ソフト面での現状を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○施設設備としては、障がい者用駐車場、車椅子用スロープ、車椅子用トイレ、貸出用の車椅子、車椅子対応のエレベーターを備えているほか、拡大読書器を設置している。</p> <p>○障がい者向け資料として、文字を拡大した大活字本、点字図書、文学作品の朗読 CD や落語の録音 CD、LL ブックなどを所蔵している。</p> <p>○図書館への来館が困難な利用者に対しては、市内 50 か所を巡回している移動図書館のほか、高齢者や障がい者の入所施設への配本や団体貸出しを実施している。</p> <p>○障がいのある方が来館した際には、要望に応じ、職員が付添い、資料の所在場所への案内等をしている。</p> <p>○図書館は、情報提供施設であり、資料と人を結びつけるという大事な役割があることから、図書館利用に障がいのある方が、不便なく利用できるよう、今後とも、障がい者向けサービスに努めていく。</p>
担当課	図書館

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	<p>①LL ブックの冊数と貸出状況、今後の拡充する考えについて伺いたい。</p> <p>②福島県郡山市の図書館では、車椅子利用者の方に、館内書架に設置した QR コードをかざすと、利用者が声を発さずに、スタッフを呼べるという、利便性を高めたサービスを行っている。そういうサービスを当市の図書館でも取り入れる考えはないか。</p>
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>①</p> <p>○LL ブックとは、知的障害や発達障害がある方や、日本語を母国語にしていない方など、読むことが苦手な方のために、写真や絵、短い言葉などを使い、読みやすいように工夫して作られた本である。</p> <p>○現在、図書館には本館と分館あわせて、10 冊の所蔵がある。</p> <p>○これまでの利用状況は、11 月末現在、43 回の貸出しとなっている。</p> <p>○出版状況を見ると、2018 年 10 月現在、図書館で把握している LL ブックの</p>

資料（提出様式）

	<p>出版は、全国で17冊程度となっており、決して多くはない。</p> <p>○LLブックは知的障害のある方だけではなく、高齢化やグローバル化の推進により、利用の増加が見込まれるため、今後は、LLブックに限らず、読むことが困難な方向けの図書の出版情報等を積極的に収集しながら、所蔵を増やすとともに、周知を図り、利用促進にも努めていく。</p> <p>②</p> <p>○障がいのある方が来館した際には、要望に応じて、職員が付添い、館内の案内や、資料の所蔵調査の補助を行っている。</p> <p>○郡山市の取組みは新しい試みであり、利便性は向上するものと思われるが、施設構造を含めた規模の違いや障害のある方への対応方法の違いなど、そのままの導入は難しいものと思われるが、障害のある方へのサービスについては、他都市の状況を参考にしながら、充実に向けて研究していく。</p>
--	--

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	